

津波避難 マイ・タイムライン

津波はいつ、どこにいたときに発生するか分かりません。
いざというときに、津波から身を守るため、平時のうちに、各家庭
において「津波避難マイ・タイムライン」を作成しておきましょう。



津波から逃げる人（北茨城市）

まず、**ハザードマップ**で我が家の災害リスクを確認！



点線に沿って丸で囲む。

津波浸水の
危険あり

自宅からの避難ルート、避難場所をあらかじめ確認しておきましょう。（原則徒歩避難）

避難場所



避難に要する時間



分



〔使い方〕家の中の目立つ場所に貼っておき、災害時に内容を確認しながら避難を行いましょう。
・内容に変更がある場合は見直すとともに、定期的に避難経路の確認など避難行動を起こす訓練を行いましょう。

チェック時の確認事項

表面をチェックするときに、併せてご確認ください。

①津波ハザードマップの確認方法

津波ハザードマップはお住まいの市町村のホームページを確認してください。
また、「わがまちハザードマップ」では、全国の市区町村のハザードマップを確認できます。



▲
わがまち
ハザードマップ

②「避難場所」の確認方法

「**津波ハザードマップ**」で、浸水しない高台の場所や避難場所を確認できます。

市町村によっては、津波避難タワーの設置や、津波避難ビルを指定している場合もあるので、避難先を確認する際に選択肢としましょう。



※ 避難に要する時間はどのくらいかかるのかを確認するために、**実際に避難目標地点まで歩いてみましょう。**

また、夜間に津波が発生する可能性もあるので、夜間も併せて確認してみましょう。昼間よりも避難に時間がかかるなど、違う課題が見つかるかもしれません。

③津波から避難するために

- 強い揺れや長い時間の揺れを感じたら、また、津波警報・注意報が発表されたら、**ただちに海岸から離れ、避難場所や高台等に避難しましょう。**
- 安全が確認されるまでは、**荷物を取りに行ったり、様子を見るために海岸に近寄ったりしてはいけません。**
- 津波は速度が速いため、**見えてからでは逃げ切れません。**

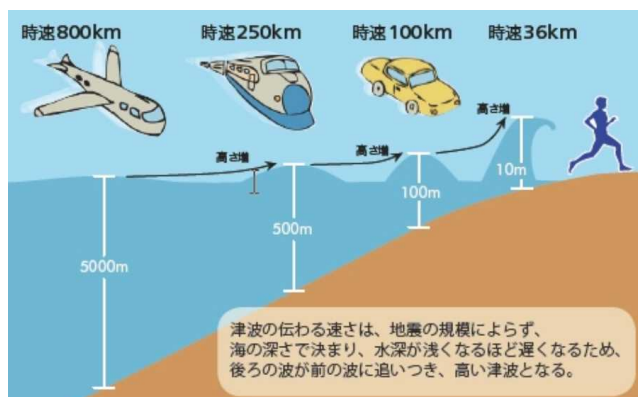


図 津波の伝わる速さと高さ
(出典：内閣府ホームページ)

- 職場や学校など、**普段滞在している場所からの避難場所も確認**しておき、家族で共有しておきましょう。